

11/20

無重力空間で重さを量るには？

桂小学校

桂小学校では、理科教育の分野で活躍する新潟大学名誉教授の小林昭三さんを招いて、重力や物体エネルギーに関する講演会が行われました。

小林さんは、旧岩船小学校、旧岩船中学校の卒業生。名古屋大学時代には、2008年ノーベル物理学賞を受賞した益川敏英さんや小林誠さんと同じ研究室で研究をされました。

講演では、「はかりが使えない無重力の状態での重さを量るにはどうしたらよいか？」という疑問を解明するために、糸で吊るした大小の風船や球を衝突させ、その反動の違いで質量を量る実験を交えて行われました。

小林さんは、「子どもの頃、人工衛星がなぜ落ちないのか不思議に思ったのがきっかけで研究を始めた。」と語り、児童に対して「不思議に思ったことがあったら、何でもあきらめず最後まで考えてみるのが大事。」とアドバイスしました。

講演は、沢山小学校と桂中学校でも行われ、児童・生徒に科学の楽しさを紹介しました。



11/23

“寅さん”との思い出を語る

コミュニティセンター城里

平成24年度生涯学習講演会を開催しました。

講演会は、俳優の秋吉久美子さんと朝日新聞社記者の小泉信一さんの対談形式で行われ、秋吉さんがマドンナ役として出演した作品「男はつらいよ 寅次郎物語」に込められた思いや、撮影当時のエピソードなどが語られました。また、秋吉さんは中学から高校までを過ごした福島県いわき市が東日本大震災で大きな被害を受けたことに触れ、震災直後の状況や、秋吉さん自らが「がんばっぺ」と声に出し、支援活動を行ってきた経緯についても語られました。



なお、講演会後には、映画「男はつらいよ 寅次郎物語」の上映会が行われ、多くの参加者が作品を楽しみました。



富田 昇さんが育てたコシヒカリがお米日本一コンテストで2年連続入賞

11月17日に静岡県で行われたお米日本一コンテストinしずおか2012において、JA 茨城中央ななかいの里生産研究部会の富田昇さん(塩子)が金賞を受賞し、前回大会での優良賞受賞に続いて2年連続入賞を果たしました。

今年は、35道府県から過去最多となる422点が出品されました。

このうち、最終審査まで残るのはわずか30点のみ。富田さんは3年連続で予選を勝ちぬぎ、最終審査に進出。さらに、準決勝まで勝ち進み、金賞を受賞しました。

富田さんに米づくりについて何うと、「おいしいお米を作るには、城里町の恵まれた気候と水の管理が大切。収穫量よりも味を優先し、安心安全なおいしいお米を皆さんに届けたい。」と話し、城里町農業委員会の会長を務める富田さんは、この結果を町の農業活性化につなげたいと意気込みを語りました。

また、11月30日に七会公民館で行われたななかいの里生産研究部会の食味会では、コンテストの結果が町やJAの関係者に報告され、受賞したコシヒカリの味を確かめました。



お米日本一コンテスト審査の流れ

- 1次審査【書類選考】
- ↓
- 2次審査【食味機器判定による】
↓ (上位30点に絞られる。)
- 最終審査【審査員が食味判定】
特別最高金賞(1点)、最高金賞(5点)、
金賞(24点)の順で選考される。
※今大会から表彰基準が変更されました。



11/24 ユニークなカカシが勢ぞろい

錫高野区

錫高野区では、2回目となるカカシ祭りが開催されました。

この事業は、三世代交流事業の一環として行われ、前年から個人や自治会などの団体が製作したカカシが展示されるようになりました。

道路沿いに展示されたカカシはおよそ30作品。11月末まで1週間ほど展示されました。

個性豊かな作品がたくさん並び、道を通る人々が車を止めて作品を眺める様子も見受けられました。



11/16 放射線量を測ってみよう！

桂中学校

桂中学校で、全校生徒と近隣の住民を対象に放射線に関する講演会が行われました。

日本原子力開発機構から講師を招いて、放射線に関する基礎知識と、事故が起きた際の避難方法の講演が行われました。

また、班ごとに放射線量簡易測定器を使って天然放射性物質を含むみかげ石などの放射線量を測定し、その値を比較しました。

質疑応答では様々な質問が寄せられ、参加した生徒は、「とても勉強になった。家の人にも教えてあげたい」と感想を述べていました。



11/13 交通安全母の会県知事表彰

茨城県庁

平成24年度茨城県表彰式において、笠間地区交通安全母の会連絡協議会（笠間市・城里町交通安全母の会で構成）が県知事表彰を受けました。

今回の表彰は、交通安全母の会が、多年にわたり行ってきた街頭キャンペーンや高齢者交通安全教室などの交通事故防止活動の功績が認められての授賞となりました。



11/23 クイズを解きながら紅葉の御前山を散策

道の駅かつら

「関東の嵐山」として親しまれている観光名所、那珂川と御前山を多くの人に知ってもらおうと、道の駅かつらが主催し、紅葉の時期を迎えた御前山でハイキングを実施しました。

当日は、小雨が降る天気でしたが、家族連れなど約40人が参加。雨に濡れてより色鮮やかになった紅葉を眺めながら、およそ1時間半かけて御前山を散策しました。

また、ハイキングコースに設けられた各休憩所には、御前山の自然や伝説に関するクイズが用意され、参加者はクイズの答えを解きながら御前山について学びました。



冬に旬を迎える赤ネギ(桂のレッドポアロー)

城里町の特産品の1つに「桂のレッドポアロー」があります。

那珂川沿いの沖積土で育った赤ネギは柔らかく、甘みが強いのが特徴で、昔から坏の赤ネギとして多くの人に親しまれてきました。

その赤ネギを改良・規格統一したものが「桂のレッドポアロー」としてブランド化され、平成20年には伝統的な食文化を守るNPO法人スローフードジャパンの「味の箱船」に認定。昨年3月には、城里町ブランド創出協議会から「城里町ブランド推奨品」の認定を受けました。

赤ネギの収穫は11月の中旬から始まり、寒さが厳しくなる時期に収穫の最盛期を迎えます。また、この時期になると甘みが増すため、より一層おいしくなるそうです。料理する際のポイントは火を通しすぎないこと。旨みが詰まっている緑色の部分も残さずに召し上がってください。



▲選別作業の様子(桂レッドポアロー研究部会長木村 晃さん宅にて)

第8回 城里町マラソン大会開催

12月2日(日)、七会中学校グラウンド及び周辺道路においてマラソン大会が開催されました。

この日は、例年になく冷え込みの厳しい日となりましたが、小学生から大人まで624名のランナーが参加し、3コース・17部門で健脚を競いました。

なお、各部門の上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)



◆ 小・中学生

順 位		第 1 位		第 2 位		第 3 位	
部門別		氏 名(学校名)	記 録	氏 名(学校名)	記 録	氏 名(学校名)	記 録
小学1年 (1km)	男子	船橋 大和(沢山小)	4分31秒	所 凛久(常北小)	4分35秒	片根康太朗(石塚小)	4分35秒
	女子	木口 真(石塚小)	4分39秒	佐久間かすみ(常北小)	4分43秒	秋本 帆花(七会小)	4分45秒
小学2年 (1km)	男子	小松崎諒真(沢山小)	4分09秒	岩田将太郎(常北小)	4分13秒	黒田 光志(石塚小)	4分14秒
	女子	田中 里奈(石塚小)	4分37秒	鈴木 沙海(常北小)	4分51秒	高橋麻莉亜(石塚小)	4分51秒
小学3年 (2km)	男子	井出健太郎(桂 小)	8分16秒	平賀 綾人(沢山小)	8分18秒	小貫 友也(桂 小)	8分23秒
	女子	佐久間 渚(常北小)	8分38秒	高橋 七星(常北小)	8分49秒	関根 彩(石塚小)	9分11秒
小学4年 (2km)	男子	今瀬 要介(常北小)	7分29秒	田中 大貴(石塚小)	7分50秒	鯉渕駿之介(常北小)	8分02秒
	女子	池田 彩乃(石塚小)	8分25秒	埴 桃華(石塚小)	8分27秒	海老根百花(石塚小)	8分33秒
小学5年 (2km)	男子	正木 稼真(常北小)	7分11秒	相川 竜也(常北小)	7分31秒	大畑 大貴(常北小)	7分34秒
	女子	會澤 侑莉(石塚小)	7分54秒	桧山 愛来(石塚小)	8分19秒	片根 菜緒(石塚小)	8分36秒
小学6年 (2km)	男子	小松田悠斗(石塚小)	7分11秒	仲田 雄生(石塚小)	7分30秒	石崎 陸人(沢山小)	7分31秒
	女子	小坂部由妃(常北小)	7分59秒	三村 麗奈(石塚小)	8分23秒	増井沙有梨(常北小)	8分25秒
中 学 (3km)	男子	皆川 龍仁(桂 中)	10分09秒	所 幹太(桂 中)	10分32秒	大越 広夢(桂 中)	10分33秒
	女子	石崎 媛香(桂 中)	11分46秒	埴 有稀(常北中)	11分52秒	秋山 宙(桂 中)	12分06秒

◆ 一 般

順 位		第 1 位		第 2 位		第 3 位	
部門別		氏 名(市町村名)	記 録	氏 名(市町村名)	記 録	氏 名(市町村名)	記 録
一 般 (3km)	男子	蓮田 隆之(城里町)	11分26秒	間杉 鳴人(城里町)	11分35秒	所 和広(城里町)	12分24秒
	女子	袴塚 理絵(城里町)	16分19秒	武田 優子(城里町)	17分59秒	(出 場 者 な し)	
	壮年	大山 諭(水戸市)	11分04秒	加藤 均(那珂市)	12分32秒	白土 由一(笠間市)	12分45秒

『骨粗しょう症予防教室』参加者募集

日 時 2月7日(木) 午後1時～3時30分

場 所 常北保健福祉センター 健診室

内 容 超音波骨量測定・骨粗鬆症予防の運動実技
○午後1時～ 受付終了後、骨量を測定します。
○午後2時～3時30分 講義・運動実技

※動きやすい服装で、運動靴をご持参ください。

講 師 水戸赤十字病院 理学療法士 鈴木 紀美恵 先生
" 作業療法士 荒井 裕久 先生

対象者 20歳～70歳までの女性

定 員 30名(定員になり次第締め切り)

申込期間 1月24日(木)～31日(木) ※電話にてお申し込みください。

申込先・問合せ 保険課 ☎029-288-3111(内線372)

参加費無料





「家庭の日」図画・作文コンクール表彰式



11月23日(金)、コミュニティセンター城里において青少年育成城里町民会議が実施した「家庭の日」図画・作文コンクールの表彰式が行われました。

今年度は、応募作品986点の中から27点の優秀作品が選ばれ、島 榮会長から受賞者一人ひとりに賞状と記念品が手渡されました。なお、今年度の受賞者は次の方々です。(敬称略)



図画の部(小学生)【出品数 885点】

◆ 最優秀賞

金子 しのぶ(七会小1年)	永山 聖(常北小2年)	高堀 湧大(沢山小3年)
石川 佳奈(桂小4年)	稲川 彩香(石塚小5年)	江幡 佳奈(石塚小6年)

◆ 優秀賞

秋山 和奏(石塚小1年)	三村 綾子(桂小1年)	大野 地央(桂小2年)
加藤木 稜央(沢山小2年)	浅野 夏希(石塚小3年)	綿引 まりん(常北小3年)
永山 祈(常北小4年)	秋山 倫(桂小4年)	長谷川 未来(常北小5年)
梅原 湊一朗(沢山小5年)	大内 皓代(常北小6年)	小田部 未央(沢山小6年)

作文の部(中学生)【出品数 101点】

◆ 最優秀賞

関 京香(桂中1年)	河原井 倫香(七会中2年)	加藤 帆南美(常北中3年)
------------	---------------	---------------

◆ 優秀賞

横山 公人(桂中1年)	佐藤 七瀬(七会中1年)	朝倉 智宏(常北中2年)
添田 桃香(桂中2年)	相馬 彩(常北中3年)	小池 若奈(桂中3年)

大規模災害に備えて ～小・中学校で防災訓練等が行われました～

◆ 常北中学校(12月6日)

被災者を受け入れる立場から防災への意識を高めようと、町社会福祉協議会とNPO法人茨城県防災士ネットワークの協力により、常北中学校の1年生が「避難所運営ゲームHUG(ハグ)」と呼ばれるカードを使った避難所運営の仮想訓練を行いました。

カードには、避難者情報や避難所で起こる出来事が記載されていて、班ごとに相談しながらそのカードを避難所となる学校の平面図に素早く配置・対処していくことで、避難所運営の方法を模擬体験しました。各班の班長からは、「重症患者や妊婦の配置に困った。」「ペットを連れた人の対応に困った。」などの感想が発表されました。

また、避難所での食事を体験するため、日本赤十字社奉仕団茨城県支部城里地区の皆さんにご協力いただき、袋で炊いたご飯のカレーライスを試食しました。



◆ 石塚小学校(12月7日)

石塚小学校と町や警察、地域関係者が連携して大規模な地震を想定した防災訓練が行われました。

今回の訓練では、避難訓練とあわせて、災害発生を知らせる緊急メールを配信し、迎えに来た保護者に担任の教諭が児童を引き渡す訓練を実施しました。

保護者には、災害発生時の混乱を想定して極力自家用車を使用せず、徒歩で来校するよう事前に周知して行われました。

また、すぐに保護者が迎えに来られない児童には、関係機関の協力を得て、体育館に避難所を設営。災害発生初期の避難所運営についても適切な対応ができるよう訓練を行いました。

